

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	議会開催回数	回/年	定例会年4回招集	目標 実績	5 6	4 4	4
	会議録作成	回/年	定例会、臨時会	目標 実績	5 6	4 4	4
成果指標				目標 実績			
				目標 実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務) B:普通 C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

議会開催と議案審議の経過を記録することは、法令で定められている。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

法規定による事業である。

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

会議録の内容は、証拠書類となり、政策的な意思決定と行財政運営等の批判と監視を行っていく議員活動を記録保存していくことの成果は大きいものとする。

■課題と対応方策

課題	現在、会議録は文書のみでの公開となっているが、ホームページで閲覧できるシステム導入について、議場改修と併せて検討を図る。
次年度における対応方策(改善方策)	
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	会議録をホームページで閲覧できるシステムの導入を図っていく。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	土渡良一 担当課名 議会事務局
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止(年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	

二次評価【部長評価】

部長名	土渡良一	担当部名	その他
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	議会だよりの発行回数	回/年	5月、8月、11月、2月 4回発行	目標	4	4	4
				実績	4	4	4
成果指標	議会だよりの発行部数	部/年	14,800部印刷 年4回	目標	15,500	14,800	14,800
				実績	15,500	14,800	
成果指標	議会傍聴者数	人/年	200人	目標	200	200	200
				実績	207	448	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検	
<input type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input checked="" type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input checked="" type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】	
<input checked="" type="radio"/>	A:高い(義務)
<input type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
議会への関心と理解を深め、市議会の活動を広く市民に知らせる。	
目標達成状況の点検	
<input type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input checked="" type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき
【目標達成状況 Total判定】	
<input checked="" type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
お知らせ版において、定例会の会期日程・一般質問の内容等を掲載し発行。傍聴者が増えた。	
実施内容・方法の点検	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input checked="" type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input checked="" type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	
議会だよりの規格、ページ数	

■課題と対応方策

課題	議会だよりの内容、構成について検討する。①議会の活動内容を正確にそのまま伝える。②議会をPRする。③読者の目線で作る。
次年度における対応方策(改善方策)	住民に親しみやすい構成等を目指し編集する。委員会において、編集方針を協議する。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	内容について、市民の意見を求める。委員会において協議する。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	土渡良一 担当課名 議会事務局
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止(年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	

二次評価【部長評価】

部長名	土渡良一	担当部名	その他
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	視察日数	日		目標	3	3	3
				実績	1	0	
成果指標	研修に参加した議員数	人		目標	19	19	16
				実績	6	0	

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務) B:普通 C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

先進事例を調査研究することにより、本市の市政進展に結びつく。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

議会活動の支援業務であり、現状維持とする。

■課題と対応方策

課題	議員が行う議会活動の一環であるため研修手段、研修内容の選定を考慮しなければならない。
次年度における対応方策(改善方策)	災害関連の視察研修を実施する方向で検討中。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	土渡良一 担当課名 議会事務局
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止(年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	次年度以降、各課題をテーマとして、実施する方向。

二次評価【部長評価】

部長名	土渡良一	担当部名	その他
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		

※事務事業コード／ 0101010105

平成 23 年度 事務事業シート

部署名	部 1 その他	課 1 議会事務局	事業年度期限	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (平成 年度～平成 年度)
会計	一般会計	款・項・目 010101 議会費	新規／継続 (事業区分1)	継続
事業名	05市議会政務調査費事業		市民協働	行政主体
目的 (成果)	かすみがうら市議会議員自らが調査研究に資することを目的とし、必要な経費の一部として、議会における会派及び議員に対して交付する。			
内容 (概要)	会派及び議員に政務調査費を交付する。			

■事業費 (単位:円)

	平成21年度 決算		平成22年度 決算		平成23年度 予算			
事業内容	議員一人当たり:150,000円/年		議員一人当たり:150,000円/年		議員一人当たり:150,000円/年			
財源内訳	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金			
	県支出金		県支出金		県支出金			
	市債		市債		市債			
	その他		その他		その他			
	一般財源	1,897,178	一般財源	1,645,595	一般財源	2,400,000		
計	1,897,178	計	1,645,595	計	2,400,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
	19	負担金、補助及び交付金	1,897,178	19	負担金、補助及び交付金	1,645,595	2,400,000	
	決算額計	1,897,178	決算額計	1,645,595	予算現額計	2,400,000		
(参考)	H21当初予算額	3,000,000	H22当初予算額	3,000,000	伸び率(%) 対・決	45.8	対・予	-20
人件費	職員人件費 0.3 人工	2,386,500	職員人件費 0.3 人工	2,426,100	職員人件費 0.3 人工		2,414,100	
総事業費	歳出+職員人件費	4,283,678	歳出+職員人件費	4,071,695	歳出+職員人件費		4,814,100	

【特記事項】
議員定数が20名から16名に減。

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	会派に支給する件数	件		目標	2	2	2
				実績	2	2	
成果指標	議員に支給する件数	件		目標	20	20	16
				実績	20	18	
成果指標				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検	
<input checked="" type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:高い(義務)
<input checked="" type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
目標達成状況の点検	
<input checked="" type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき
【目標達成状況 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input checked="" type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
実施内容・方法の点検	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input checked="" type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input checked="" type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	
手続きの見直し。	

■課題と対応方策

課題	各自治体間の用途制限にバラツキがある。 手続きが煩雑である。
次年度における対応方策(改善方策)	手続きの簡素化を検討する。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	土渡良一 担当課名 議会事務局
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止(年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	規則の検討。

二次評価【部長評価】

部長名	土渡良一 担当部名 議会事務局
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認